

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福社会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	3
4.	施設内・外研修参加報告	4
5.	実習・施設見学実施報告	6
6.	年間行事及び地域交流報告	7
7.	各事業所別報告	
7-1.	特別養護老人ホーム淑徳共生苑	8
7-2.	淑徳共生苑短期入所生活介護事業所	12
7-3.	淑徳共生苑通所介護事業所・ 淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所	13
7-4.	淑徳共生苑居宅介護支援事業所	14
7-5.	淑徳おゆみ診療所	16
7-6.	千葉県あんしんケアセンター松ヶ丘	17
7-7.	千葉県生活支援コーディネーター	19

1. 総括

令和5年度事業計画における法人の基本方針は、①経営組織のガバナンスの強化、②事業運営の透明性の確保、③職員の待遇改善と人材の育成及び安定確保、④淑徳大学との連携強化、⑤地域・社会貢献活動への取組みとし、基本理念である共生（ともいき）八ヶ状を大事にした運営を目指した。

引き続きコロナ感染の影響があり、職員の勤務体制に支障が出たがユニットや多職種の応援によって乗り切ることができた。特養部門、通所介護部門は稼働率上昇を掲げて取り組んできたが、特養の満床達成は2月まで持ち越しとなった。居宅部門、あんしん部門、診療所部門は計画以上に安定した稼働であった。通所は残念ながら大きな変更が必要な状況に変わりがない。職員の稼働率への意識は向上してきたので、常にそれぞれ数値化した入居率、稼働率を掲げられるようにしたい。

人材確保の課題はあるが、満床に対応した職員数の確保を行い、緊急対応として派遣も活用している。人材育成は、委員会と連動して計画的に取り組みたい。入居者や利用者にとってよい人材を確保することは必須であり、新しい人材がもたらす新風を大切にすべきと考える。

淑徳大学社会福祉学科・看護学科の実習、大学院生の研究、大学教員の研究等の求められるものは全て受け入れている。また、社会貢献の一環として特別支援学校の現場実習・清掃活動・花壇整備・施術体験会、家庭裁判所の補導委託訓練、千葉障害技専の障害者委託訓練、高等学校介護技術コンテスト、各種施設見学等を引き続き継続している。さらに地域担当部門を創設し、社会福祉法人に求められる社会貢献活動の模索を始めたところでもある。淑徳福祉会としてできることに積極的に取り組んで行くべきと考えている。

法人全体で見ると若干ではあるが、4年ぶりの黒字決算で終えることができた。特養部門の満床継続は今後も必須であり、通所部門の改善を最優先課題として進めたい。他部門はさらに計画的な運営を行うことで法人全体の底上げをしたい。次年度以降は、法人として先を見越した積極的な動きを真剣に考えて行きたい。

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	理事	監事	報告事項及び議案
第1回	6月7日	6名	2名	第1号議案 令和4年度事業報告、決算報告について 第2号議案 定時評議員会の招集について 第3号議案 次期役員等選任(案)について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 事業執行状況について 第3号報告 淑徳共生苑・淑徳おゆみ診療所の現況について
第2回	6月22日	6名	1名	第1号議案 理事長の選定について 第2号議案 業務執行理事の選定について 第3号議案 給与規定等の一部改訂について
第3回	9月21日	6名	2名	第1号議案 令和5年度第一次補正予算(案)について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 会計執行状況について 第3号報告 事業執行状況について 第4号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について 第5号報告 千葉県あんしんケアセンター松ヶ丘について 第6号報告 新規事業の方向性等について
第4回	12月7日	6名	2名	第1号議案 令和5年度第二次補正予算(案)について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 会計執行状況について 第3号報告 事業執行状況について 第4号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
第5回	3月6日	6名	1名	第1号議案 令和5年度第三次補正予算(案)について 第2号議案 令和6年度事業計画(案)について 第3号議案 令和6年度当初予算(案)について 第4号議案 運営規程改定(案)について 第5号議案 地域担当活動経過及び次年度計画(案)について 第6号議案 施設長人事(案)について 第7号議案 永年勤続表彰(案)について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 事業執行状況について 第3号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について

評議員会開催報告

回	期日	評議員	監事	報告事項及び議案
定時	6月22日	5名	1名	第1号議案 令和4年度事業報告、決算報告について 第2号議案 社会福祉法人淑徳福祉会新役員当選人について 第1号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について

3. 職員配置・入退職状況

(令和6年4月1日現在)

特養・定員90名／短期入所・定員10名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長(兼務)	1	1	-
生活相談員	2	3	-
看護師(兼務)	3	5	1
介護職員	34	55	11
管理栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
周辺業務(兼務)	-	3(1)	3(1)
事務員	-	4	2
宿直員	-	5	5
計	44	80(1)	22(1)

通所・定員20名／認知症対応型通所介護・定員6名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者(兼務)	2	(2)	-
生活相談員	2	2	-
看護師	1	1	1
介護職員(兼務)	4	12(3)	8
運転手(兼務)	-	2(1)	2(1)
計	9	17(6)	11(1)

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者(兼務)	1	(1)	-
主任介護支援専門員	1	1	-
介護支援専門員	-	2	-
計	2	3(1)	0

淑徳おゆみ診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	1	1
事務員	-	2	1
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	8	6

あんしんケアセンター松ヶ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者(兼務)	1	(1)	-
保健師・看護師	3	2	-
主任介護支援専門員	4	4	-
社会福祉士	3	4	-
事務員	2	2	2
生活支援コーディネーター	1	1	-
介護支援専門員	-	1	-
計	14	14(1)	1

職員入退職状況(令和5年度中)

職種	入職	有期⇔無期、 正規雇用	退職
正規雇用職員	5	0	5
無期契約職員	0	1	0
有期契約職員	9	0	8
計	14	1	13

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容、人数		
4月	14日	緊急時対応について	10名
	28日	喀痰吸引について	8名
5月	11日	介護事業者における業務継続計画（BCP）について	8名
	20日	事故防止対策について	8名
6月	9日	権利擁護虐待防止・身体拘束廃止研修	53名
	30日	褥瘡について	7名
7月	14日	食中毒について	10名
9月	30日	看取りケアについて	8名
10月	13日	接遇について	4名
	20日	ユニットケアについて	4名
	27日	基礎介護技術「おむつのあて方」	13名
11月	10日	看取りケアについて	7名
	24日	基礎介護技術「おむつのあて方」	11名
	30日	低栄養について	4名
12月	8日	感染症対策について	72名
1月	19日	事故防止対策について	10名
	26日	感染症の予防及び蔓延防止のための訓練	5名
2月	9日	権利擁護虐待防止・身体拘束廃止研修	68名
	10日	認知症について	7名
	28日	口腔ケアについて	14名
	29日	感染症の予防及び蔓延防止のための訓練	5名
3月	8日	プライバシー保護について	7名
	22日	ハラスメントについて	9名
	26日	救命救急講習	9名
	29日	業務継続計画（BCP）の訓練	11名
※資料は全て職員全体に周知			延べ 372名

外部研修

月	日付、内容、参加人数		
5月	1日	中央介護福祉専門学校同窓会研修会	3名
	15日	千葉県介護支援専門員更新研修（～7月26日）	2名
	19日	在宅医療コーディネーター研修（～10月20日）	1名
6月	17日	千葉県介護支援専門員協議会第一回研修会	1名
	23日	千葉県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ（～9月17日）	1名
	16日	認知症介護基礎研修（～9月）	1名

	26日	認知症地域支援推進員全体研修会	1名
	29日	誤嚥事故防止セミナー	1名
7月	7日	千葉市の看看連携を考える会	1名
	12日	インボイス制度対応事前準備セミナー	1名
	13日	中央区新人ケアマネ向け研修会	1名
	18日	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修	1名
	23日	千葉県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ（～9月17日）	1名
	27日	生活支援体制整備事業に係る市町村研修会	1名
	28日	NURSINGUPDATE WITH AOBA	1名
	28日	地域包括支援センター職員基礎研修	1名
8月	28日	カスタマーハラスメントについて	1名
	28日	大巖寺研修	2名
9月	13日	関東ブロック老人福祉施設研究総会	3名
	27日	生活を支えるリハの実態（～29日）	1名
	27日	国際福祉機器展	3名
	29日	キャラバンメイト養成研修	1名
10月	19日	千葉東病院レビー小体型認知症の方が見る世界	1名
	25日	認知症地域支援推進員研修（新任者研修）	1名
	25日	千葉県地域包括支援センター職員研修（現任者）	1名
11月	8日	千葉県主任介護支援専門員研修	1名
	15日	千葉市介護ロボットフェア	3名
	22日	認知症地域推進員スキルアップ研修	1名
	25日	社会福祉士実習指導者講習会	1名
12月	1日	社会福祉法人セミナー	1名
	4日	施設介護支援専門員現任研修	1名
	8日	千葉中央介護専門学校同窓会研修	3名
	9日	千葉県介護支援専門員協議会第108回研修会	1名
	13日	介護認定調査員新規研修会	1名
	21日	介護ロボット導入モデルホーム見学	3名
	22日	千葉県介護予防事業従事者研修会	1名
1月	17日	介護事業者のためのBCP作成セミナー	1名
	24日	業務ITツールの活用で真の業務効率化を図るためのポイント	1名
	26日	5類移行後の新型コロナ感染症に対する研修	1名
	30日	防火管理講習	1名
	30日	介護職員を利用者・家族によるハラスメントから守る（～2月13日）	1名
2月	2日	稼働率アップの挑戦	1名
	7日	千葉市消防局より現状の説明	1名
	8日	EPA認知症介護基礎研修	3名
	12日	介護現場におけるハラスメント研修	1名
	19日	介護ロボットセミナー	3名

	21日	千葉県喀痰吸引指導者要請講習（～2月29日）	1名
	22日	介護報酬改定のポイント	1名
	25日	地域共生社会の実現に向けた取り組み	1名
3月	12日	自立支援・重度か予防に向けた栄養支援を考える	1名
	14日	防火管理者講習	1名
			延べ69名

5. 実習・見学実施報告

月	日程	学校・学部名等	内容	人数
5月	9日～11日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	4名
6月	12日～15日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科見学実習	8名
	19日～23日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科見学実習	9名
	26日～30日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科見学実習	8名
7月	31日～8月31日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（施設現場）実習（3年生）	4名
8月	15日～19日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（あんしん）実習（3年生）	4名
9月	11日～15日	淑徳大学看護栄養学部	管理栄養士給食臨地実習	2名
	25日～29日	淑徳大学看護栄養学部	管理栄養士給食臨地実習	2名
	26日～10月5日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	8名
10月	4日～3月31日	淑徳大学大学院	心理実践実習	2名
	9日～11月11日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習（導入実習）8グループ	170名
11月	20日～12月1日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	8名
12月	4日～15日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	3名
1月	8日～19日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	8名
	24日～3月22日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習（導入実習）8グループ	167名
2月	19日～3月7日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	8名
3月	3日～4日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習Ⅲ	2名
	6日～7日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習Ⅲ	2名
				延べ419名

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4月	14日	月影堂	降誕会	お釈迦様の誕生を祝う宗教行事
5月	12日	苑内	つるまい風の丘分校園芸活動	花壇整備ボランティア
6月	5日	苑内	つるまい風の丘現場実習	職業訓練
	7日	〃	台湾大仁科技大学視察団	施設見学
	11日	〃	家族会役員会	会計監査・今後の活動について
	13日	〃	補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力
7月	9日	ホール	家族会総会	総会実施
	21日	月影堂	盂蘭盆会	宗教行事
	23日	ホール	高等学校介護技術コンテスト千葉県大会	介護技術コンテスト会場
8月	2日	苑内	中国視察団	施設見学
	25日	〃	つるまい風の丘分校清掃活動	苑内窓ガラス清掃ボランティア
	28, 29日	〃	補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力
	30日	〃	長沙民政職業学院視察団	施設見学
9月	13, 14日	苑内	補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力
	20日	〃	つるまい風の丘分校清掃活動	苑内窓ガラス清掃ボランティア
	22日	〃	敬老会	敬老のお祝い
	27日	〃	千葉盲学校施術体験会	希望利用者・職員への施術体験
10月	2日	苑内	つるまい風の丘現場実習	職業訓練
	18, 19日	〃	補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力
11月	2日	苑内	つるまい風の丘分校清掃活動	苑内窓ガラス清掃ボランティア
	7日	〃	少年友の会見学・懇談	施設見学
	7, 13日	〃	生涯大学校見学	〃
	18日	〃	淑徳大学教育福祉学科見学	〃
	25日	〃	浄土宗社会福祉協会見学	〃
12月	6日	月影堂	成道会	お釈迦様のお悟りを祝う宗教行事
	12日	苑内	台湾大仁科技大学視察団	施設見学
	15日	〃	つるまい風の丘分校清掃活動	苑内窓ガラス清掃ボランティア
1月	1日	地域	生実神社歳旦祭	地域の正月行事
2月	3日	地域	大巖寺節分	地域の節分行事
	14日	月影堂	涅槃会	宗教行事
3月	18日	苑内	千葉盲学校施術体験会	希望利用者・職員への施術体験
	25, 27日	地域	お花見（大巖寺）	外出行事

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、苑外活動やボランティア受け入れなどは、引き続き中止とさせていただきます。

7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム淑徳共生苑

年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率	平均介護度
4月	0	0	660	1,057	804	2,521	93.4%	4.1
5月	0	0	655	1,147	775	2,577	92.4%	4.0
6月	0	0	682	1,095	750	2,527	93.6%	4.0
7月	0	0	746	1,181	712	2,639	94.6%	4.0
8月	0	0	720	1,194	731	2,645	94.8%	4.0
9月	0	30	677	1,169	629	2,505	92.8%	4.0
10月	0	31	715	1,141	642	2,529	90.6%	3.9
11月	0	30	739	1,114	660	2,543	94.2%	3.9
12月	0	31	792	1,135	712	2,670	95.7%	3.9
1月	0	31	754	1,188	680	2,653	95.1%	3.9
2月	0	29	667	1,187	638	2,521	96.6%	4.0
3月	0	31	762	1,257	676	2,726	97.7%	3.9
計	0	213	8,569	13,865	8,409	31,056	94.3%	4.0

月別入院者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	2	3	3	2	1	6	4	2	1	3	4	4	35
日数	26	36	31	26	5	66	55	12	12	29	50	56	404

性別・要介護度別入居者数

	男性	女性
要介護1	0	0
要介護2	0	1
要介護3	5	20
要介護4	7	35
要介護5	7	15
計	19	71
平均介護度	4.1	3.9

年齢・性別構成

	男性	女性	計
60歳代	1	0	1
70歳代	3	7	10
80歳代	10	27	37
90歳代	5	36	41
100歳代	0	1	1
計	19	71	90
平均年齢	84.5歳	89.6歳	88.5歳

在苑期間

	男性	女性	計
5年未満	18	58	76
10年未満	0	11	11
15年未満	0	1	1
15年以上	1	1	2
計	19	71	90
平均	2.0年	2.8年	2.6年

利用料負担階層

	1割	2割	3割
1段階	0	-	-
2段階	11	-	-
3段階①	12	-	-
3段階②	18	-	-
4段階	48	1	0
計	89	1	0

地域状況

保険者	人数
千葉市中央区	65
千葉市緑区	11
千葉市若葉区	3
千葉市美浜区	3
市原市	6
船橋市	1
他県	1
計	90

入所状況

人数	入所月	年齢	性別	要介護度	利用前の居所
1	4月	72歳	女性	要介護5	介護老人保健施設
2	5月	87歳	女性	要介護4	家庭
3	5月	96歳	女性	要介護3	介護老人保健施設
4	5月	82歳	女性	要介護4	介護老人保健施設
5	5月	83歳	女性	要介護4	介護老人福祉施設
6	6月	92歳	女性	要介護3	介護老人保健施設
7	6月	90歳	男性	要介護4	サービス付高齢者住宅
8	6月	94歳	女性	要介護4	域密着型通所介護施設
9	7月	93歳	男性	要介護4	有料老人ホーム
10	7月	91歳	女性	要介護3	医療機関
11	7月	93歳	男性	要介護4	医療機関
12	8月	87歳	男性	要介護5	医療機関
13	8月	80歳	男性	要介護4	医療機関
14	8月	94歳	女性	要介護4	介護老人福祉施設
15	8月	96歳	女性	要介護4	医療機関
16	8月	92歳	女性	要介護5	医療機関
17	10月	83歳	男性	要介護5	グループホーム
18	10月	88歳	女性	要介護5	家庭
19	10月	94歳	女性	要介護3	家庭
20	10月	86歳	女性	要介護5	医療機関
21	10月	95歳	女性	要介護3	医療機関
22	11月	89歳	男性	要介護4	家庭
23	11月	78歳	女性	要介護5	家庭
24	11月	82歳	男性	要介護3	家庭
25	11月	82歳	女性	要介護4	家庭
26	11月	89歳	女性	要介護4	サービス付高齢者住宅
27	12月	79歳	女性	要介護4	介護老人福祉施設
28	12月	92歳	女性	要介護4	介護老人保健施設
29	12月	84歳	男性	要介護4	医療機関
30	12月	86歳	女性	要介護4	医療機関
31	12月	84歳	女性	要介護4	介護老人保健施設
32	1月	91歳	女性	要介護3	医療機関
33	1月	84歳	女性	要介護4	医療機関
34	2月	88歳	男性	要介護5	医療機関
35	2月	91歳	女性	要介護4	家庭
36	2月	94歳	女性	要介護4	家庭
37	3月	96歳	女性	要介護4	家庭

退所状況

人数	退所月	年齢	性別	要介護度	退所事由
1	4月	96歳	女性	要介護5	死亡(看取り)
2	4月	93歳	女性	要介護4	長期入院
3	4月	97歳	女性	要介護5	死亡(看取り)
4	4月	98歳	女性	要介護5	死亡(看取り)
5	4月	89歳	男性	要介護5	死亡(看取り)
6	5月	99歳	女性	要介護4	長期入院
7	5月	103歳	男性	要介護4	死亡(施設)
8	6月	96歳	女性	要介護3	死亡(医療機関)
9	6月	88歳	女性	要介護4	死亡(医療機関)
10	7月	82歳	女性	要介護4	死亡(施設)
11	7月	91歳	女性	要介護5	長期入院
12	7月	83歳	男性	要介護3	死亡(看取り)
13	7月	91歳	女性	要介護5	死亡(看取り)
14	8月	93歳	男性	要介護3	死亡(看取り)
15	8月	87歳	男性	要介護5	死亡(看取り)
16	8月	72歳	男性	要介護5	死亡(施設)
17	9月	89歳	女性	要介護4	死亡(施設)
18	9月	86歳	女性	要介護4	死亡(看取り)
19	9月	91歳	女性	要介護5	死亡(医療機関)
20	9月	87歳	女性	要介護5	死亡(看取り)
21	9月	92歳	女性	要介護5	死亡(看取り)
22	9月	88歳	女性	要介護4	長期入院
23	10月	89歳	女性	要介護3	死亡(施設)
24	10月	92歳	女性	要介護4	死亡(看取り)
25	11月	93歳	女性	要介護3	長期入院
26	11月	70歳	男性	要介護4	他施設入所
27	12月	104歳	女性	要介護4	死亡(看取り)
28	12月	89歳	男性	要介護4	死亡(施設)
29	12月	88歳	男性	要介護5	死亡(看取り)
30	12月	96歳	女性	要介護4	死亡(看取り)
31	12月	94歳	女性	要介護3	死亡(看取り)
32	1月	89歳	女性	要介護5	死亡(施設)
33	1月	95歳	女性	要介護5	死亡(施設)
34	3月	89歳	女性	要介護4	死亡(看取り)

施設相談員報告

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行により、入退所・入退院・面会・レクリエーション・研修など、様々な制約がある中での運営となった。

- ・ 申込者の見学相談を積極的に受け入れ、入所前調査等により入居者の生活習慣の把握、家族の思いを把握し、診療所・ユニット・他職種との連携を図り、入居者の個別的な生活が維持できるよう努め、尊重したケアを提供するよう努めた。
- ・ 他職種連携の強化のため、ユニット会議・カンファレンス（担当者会議）だけでなく、看護会議や医師との相談体制を構築し、入居者の体調管理やケア向上に努めた。
- ・ 各委員会は、昨年度と同様の体制を図り、協議できる委員会となるよう努めた。
(虐待防止委員会) 啓発活動やチェックリストの活用を行い、データとして提示し、課題・実施・評価を行い不適切なケアへの取り組みを実施できた。前年度より不適切なケアの減少が見られたため、この結果を踏まえて次年度につなげていきたい。
(身体拘束廃止委員会) 身体拘束廃止の取り組みの結果、新規入所者で一時的にやむを得ずに身体拘束を実施したが短期間で終了し、今年度も身体拘束ゼロを実現している。

各委員会開催の頻度が多く、業務負担となったケースが生じた。次年度は、委員会開催の頻度を必要な回数とし、その分を入居者の活動時間に活用していきたい。

- ・ コロナ禍の中で入居者の生活の質を維持するため、ユニットの中で実施できるレクリエーションの工夫・毎月の法話会（宗教行事）・他職種による定期的な体操レクなど、活動の機会を増やし、喜んでいただけるよう支援した。また、父の日や敬老会など、規模の縮小はあるも感染対策を行った上で、コロナ禍前に近いレクリエーションの提供をした。ボランティアの受け入れは、前年度に続き中止とした。
- ・ 苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップとして介護職者としての資質向上に努め、研修会はロールプレイやグループワークを積極的に取り入れた。また法令研修の増加や苑内訓練の義務化により、研修項目が増加したため、より効率・効果的に研修ができるように、動画研修を取り入れた。
- ・ 実習生の受け入れ体制については実習内容も改めて、社会福祉士実習・看護実習など苑内での実施を行うことができた。感染対策を徹底した中で、デイサービスやユニットでの現場実習も実施することができた。
- ・ 前年度より入所をスムーズにするため入所判定委員の連携を強化したことにより、

1カ月で5名の新規入所と運営できる体制を継続し、平均すると入所/月3人、退所/月2.8人となった。今年度後半は安定した稼働を実現でき、2月より満床となった。今年度は、新型コロナウイルス感染症クラスター発生による影響が退所者数の増加原因となった。また入院が必要となるケースが多くなり今後の課題となる。引き続き入所申込者を増やすことにも力を入れ、安定した稼働ができるようにしていく。

- ・今年度も新型コロナウイルスの職員の発生が多発し、クラスターが2件発生した。新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザやノロウイルスなど職員感染の発生があり、引き続き感染症予防対策の徹底に努めていく。

来年度は、感染症予防対策を徹底していく中で、苑内外での活動や家族との時間やボランティアなどに力をいれ、入居者が充実した生活を過ごせるよう努めていく。

施設看護報告

- ・施設医療において、健康に生活できるレベルを保つ事、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え医師との連携に努めた。
- ・健康診断において、入居者様の健康状態の把握、異常の早期発見に努める事ができている。
- ・施設看護体制の中で、医師の指示のもと看護師が出来る範囲の医療を、昨年同様提供できている。
- ・熱発等の受診においては、肺炎や熱の受診が上位を占めていたが内服中心の治療・疾患の程度により肺炎の診断がなされた場合診療所にて点滴治療が可能であり、内服と点滴治療でほとんどの方が回復されている。
- ・他職種との情報連携を円滑に行い、必要とされる医療・看護を提供する事が出来た。
(食事・排泄・睡眠・看取り等)
- ・口腔予防衛生の取り組みとして訪問歯科との情報の共有、飲み込む力の弱くなってきている入居者様に対して嚥下訓練も行っている。
- ・感染症(インフルエンザ・新型コロナ等)については予防接種を行っている。医師の指示のもと必要に応じて医療の提供を行い、感染を最小限に抑える事が出来ている。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	延べ人数
整形（打撲・骨折）骨粗鬆症関係	23
肺疾患関係・熱など	37
泌尿器・バルーン関係	17
糖尿・消化器・栄養関係	67
循環器関係	7
頭痛・脳疾患関係	6
処置・皮膚疾患・その他	143
計	300

訪問歯科受診状況

月	診療回数	延べ人数
4月	8	79
5月	8	75
6月	8	77
7月	7	66
8月	9	60
9月	6	52
10月	8	71
11月	19	147
12月	18	177
1月	15	149
2月	12	124
3月	14	178
計	132	1,255

他医療機関受診状況

診療科	延べ人数
内科	15
神経内科・精神科	1
眼科	12
癌関係	0
皮膚科	17
ペースメーカー管理	1
耳鼻科	6
整形外科	16
胃瘻	8
泌尿器科	0
脳外科・外科	1
循環器	5
口腔外科	0
計	82

- ・11月からおゆみ野総合歯科クリニック、浜野グラスビトウィーン歯科の2院で診察
- ・喀痰吸引（主に経口）4名、経管栄養 5名、ペースメーカー 2名、バルーン 3名

7-2. 淑徳共生苑短期入所者生活介護事業所

令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により、入退所やコロナ発生時による営業休止など制約がある中での運営となった。ご利用者によっては新型コロナウイルス感染への心配により利用を中止する方もいたが、感染が落ち着くと利用再開する方も多くいた。制約のある中でも感染症対策を徹底することで、在宅ケアマネージャーや多職種との連携を強化し、ご利用者やご家族が安心して利用できるように努めた。

集団的なレクリエーションは、ユニット内での実施となる。また個々に活動できるパズル・折り紙・体操など日々余暇活動を充実できるように努めた。

上半期は感染の発症もなく新規ご利用者が増えた事で、平均稼働率 75%にて経過した。下半期は年明け1月、2月と続けて新型コロナウイルス感染がユニット内で発生したため、やむを得ず営業休止となる期間もあったが、他の月の稼働率も上がり平均稼働率は78%となった。単月では4年半ぶりとなる稼働率90%を超えた月もあった。

来年度は、引き続き感染症予防対策を実施していく中で、余暇活動の充実に力を入れ様々な利用者のニーズに対応し、新規利用の獲得と安定した稼働率での運営ができるように取り組んでいきたい。

年間稼働率

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	0	0	18	36	53	56	41	204	68.0%	3.3
5月	0	0	33	29	75	45	51	233	75.2%	3.2
6月	0	0	24	38	90	41	50	243	81.0%	3.2
7月	0	2	35	15	108	42	47	249	80.3%	3.2
8月	0	0	35	15	85	49	50	234	75.5%	3.3
9月	0	3	48	17	55	47	49	219	73.0%	3.1
10月	0	4	61	20	62	64	29	240	77.4%	2.9
11月	0	0	62	27	88	62	24	263	87.7%	2.8
12月	0	0	72	31	81	64	23	271	87.4%	2.8
1月	0	0	28	11	77	35	23	174	56.1%	3.1
2月	0	0	57	6	77	38	20	198	68.3%	2.8
3月	0	0	66	26	103	69	16	280	90.3%	2.8
計	0	9	539	271	954	612	423	2,808	76.9%	3.0

7-3. 淑徳共生苑通所介護事業所・

淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所

令和5年度は5月から新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたがご利用者、s職員にも感染者は確認されている。引き続き検温、消毒、手洗いうがいなどの基本的な対策を徹底して行い、感染を広げずに運営できた事は良かったと思う。

今年度は淑徳大学の学生アルバイトを積極的に受け入れ、ご利用者様も学生アルバイトとの関わりを楽しみに来苑されていた。事業所としても人材育成の観点からみても今後も学生アルバイトの受け入れは継続していく事が大事である。

行事等はまだコロナ禍前のように実施できていないが、畑での農作業は皆様収穫を心待ちにされ、毎年の楽しみとなっている。

新規のご利用者も少しずつ増えてはいるが、デイ利用開始時には特養入所を見据えてい

る方が多く、またコロナ感染により在宅生活が難しくなり利用が終了になるケースもあり、利用期間が短くなっている。今後は在宅生活を長く継続できるように支援していく。

また、デイサービスの利用を終了した方の再利用の希望もあり、受け入れしている。今年度は営業活動を更に活性化させ、新規利用者の獲得や利用回数増に繋げていく。

通所介護事業所年間稼働率

	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	稼働率	平均介護度
4月	155	133	33	54	9	384	76.8%	2.0
5月	140	130	29	57	9	365	67.6%	2.1
6月	158	119	32	58	8	375	72.1%	2.0
7月	151	111	30	52	9	353	67.9%	2.0
8月	165	98	29	43	9	344	63.7%	1.9
9月	160	95	31	36	8	330	63.5%	1.9
10月	153	111	29	46	6	345	66.3%	2.0
11月	141	128	33	42	9	353	67.9%	2.0
12月	119	98	33	30	9	289	60.2%	2.0
1月	133	112	44	28	4	321	66.9%	1.9
2月	106	112	38	27	0	283	56.6%	2.0
3月	124	134	45	23	0	326	62.7%	1.9
計	1,705	1381	406	496	80	4,068	66.0%	2.0

認知症対応型通所介護事業所年間稼働率

	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	稼働率	平均介護度
4月	0	8	49	0	5	62	41.3%	3.0
5月	3	9	63	0	4	79	48.8%	2.9
6月	9	7	62	1	4	83	53.2%	2.8
7月	8	5	57	4	4	78	50.0%	2.9
8月	10	1	50	4	4	69	42.6%	2.9
9月	11	0	35	12	5	63	40.4%	3.0
10月	19	1	45	13	4	82	52.6%	2.8
11月	12	9	44	13	3	81	51.9%	2.8
12月	12	8	42	9	4	75	52.1%	2.8
1月	10	8	33	8	3	62	43.1%	2.8
2月	10	13	19	8	3	53	35.3%	2.6
3月	12	21	20	4	1	58	37.2%	2.3
計	116	90	519	76	44	845	45.7%	2.8

7-4. 居宅介護支援事業所

昨年度に引き続き、令和5年度も特定事業所加算Ⅲを算定。千葉県介護支援専門員実務研

修実習生（1名）を受け入れ、研修等の参加により質の高いケアマネジメントの維持を図るとともに、多職種連携会議や地域活動への参加にも積極的に取り組んだ。

認定調査受託については、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで多くの依頼があり、可能な範囲で対応した。

新年度の人員体制の見通しが不透明であった為、年度末は新規受付を停止したこと等もあり、実績合計数が減少しているが、3人体制を維持できることになった。新規相談は多い為、随時対応していく。

実績

	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	3	3	10	35	19	11	5	1	97
5月	3	0	7	41	27	13	6	2	96
6月	3	2	9	40	24	14	7	2	98
7月	3	3	7	44	24	11	7	2	98
8月	3	4	8	41	26	14	6	2	101
9月	3	4	8	39	23	15	7	2	98
10月	3	5	8	40	23	16	7	2	101
11月	3	6	8	38	25	16	7	2	102
12月	3	5	8	37	22	16	6	2	96
1月	3	4	8	36	23	16	5	2	94
2月	3	3	7	34	19	14	5	1	83
3月	3	3	7	35	19	14	4	1	83
計	-	42	95	460	274	170	72	21	1,147

登録者数（3月末時点）

性別	予防給付	介護給付	計
男性	4	28	32
女性	8	44	52
計	12	72	84

登録者世帯状況（3月末時点）

世帯	人数
独居	19
夫婦	31
子ども世帯同居	29
他親族同居	2
その他※	3
計	84

※ロングショート利用中、サービス付高齢者住宅

認定調査受託

受託件数	保険者
43件 (前年度5件)	千葉市中央区13件、緑区4件、習志野市3件、いすみ市1件、富津市1件、大網白里市3件、市原市5件、八千代市2件、船橋市1件、木更津市2件、東京都4件（港区1件、葛飾区1件、北区1件、東村山市1件） 埼玉県1件（大里広域市町村圏組合1件）、高知県1件（高知市1件） 北海道2件（岩見沢市1件、登別市1件）

研修等参加

月	日付・内容・参加人数	
5月	16日	あんしんケアセンター浜野・松ヶ丘圏域合同研修会（3名）
6月	22日	浜野圏域SDZsイベント開催の為の実行委員会（1名）
7月	4日 7日 13日 15日	浜野圏域SDZsイベント開催の為の実行委員会（1名） 浜野圏域事例検討会（3名） 中央区新人研修（1名） 浜野圏域SDZsイベント（3名）
8月	28日 28日	淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議（2名） 浜野圏域多職種連携会議※Zoom（1名）
9月	4日・12日	浜野圏域事例検討会打ち合わせ（3名）
10月	17日 19日	浜野圏域事例検討会※主催担当（3名） 外部研修※千葉東病院（1名）
11月	8、16、26日	主任介護支援専門員研修（1名）
12月	4、10、25日 5日	主任介護支援専門員研修（1名） 浜野圏域虐待防止研修（3名）
1月	11日 14、23、31日	浜野圏域事例検討会（3名） 主任介護支援専門員研修（1名）
2月	2日 7日 9、10、19日 22日 26日	あんしんケアセンター浜野意向調査（3名） 浜野圏域多職種連携会議※Zoom（1名） 主任介護支援専門員研修（1名） 外部研修「介護報酬改定について」（1名） 淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議（1名）
3月	27日 28日	外部研修「介護報酬改定対応研修」（1名） 介護支援専門員実務研修実習生事前打ち合わせ（1名）

7-5. 淑徳おゆみ診療所

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ患者数	858	878	875	770	892	840	1,032	1,124	974	783	777	747	10,550
うち入居者関連	302	295	263	270	350	289	312	269	347	286	278	281	3,542
うち予防接種等	85	89	119	22	50	38	198	330	81	6	25	5	1,048

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

あんしんケアセンター松ヶ丘では、下記のように年間の活動方針・重点活動項目を定め、それに沿って活動した。

1. 令和5年度活動方針（総合）

- ・ 地域の関係機関との連携を深め、他問題を抱える家族や、複雑化・深刻化するケースにも対応可能な環境を整える。
- ・ 積極的に地域に出向き、ケースが複雑化・深刻化する前に相談に結び付くよう、あんしんケアセンターの周知を図っていく。高齢者以外の若い世代への周知も行っていく。
- ・ 生活支援コーディネーターと連携し、地域のニーズに合った介護予防活動を展開していく。

2. 令和5年度重点活動項目

(ア) 松ヶ丘（対象地域：川戸町（全域））

- ・ 川戸町民の生活実態・ニーズの把握
- ・ 地域課題把握のための地域ケア会議の開催

(イ) 白旗出張所（対象地区：大森町（112地区）・蘇我5丁目）

- ・ 一人暮らし高齢者の生活実態把握調査

3. 年度総括

(ア) 活動方針

- ・ 蘇我、白旗、仁戸名町で定期的に地域ケア会議を開催し、地域の課題把握に努めたほか、測定会等の実施につながった。
- ・ 様々な方法であんしんケアセンターの周知を図った。ヤングケアラーに関する周知も学校関係者に行った。
- ・ コロナウイルス感染症が5類に移行になったため、積極的に地域に出向き、通いの場への支援や消費者被害に関する周知等を行った。

(イ) 第1号介護予防支援事業

- ・ 相談者への地域のインフォーマルサービスも含めた介護サービスの提案を実施した。また、委託先居宅介護支援事業所への必要書類の提出を促し、書類管理を実施した。介護保険の認定が遅れることが多くみられたが、委託先居宅介護支援事業所と連携

を取り、利用者が不利益を被らず担当介護支援専門員の負担が最小限になるよう対応を行った。

(ウ) 総合相談支援

- ・ 出張相談の開催、ポスターの提示、パンフレットの配布などの方法を用いてあんしんケアセンターの周知を図った。
- ・ 3職種が情報共有を行いケースの支援をすすめた。
- ・ 困難ケースの課題解決のために地域ケア会議等を開催して情報共有、連携を図った。

(エ) 権利擁護

- ・ 虐待が疑われるケースに対して関係機関や高齢障害支援課と連携して対応を行った。市民講座の開催やシニアリーダー体操教室で消費者被害の注意喚起、啓発活動を行った。認知症サポーター養成講座の開催や、RUN 伴に参加した。
- ・ 成年後見制度・高齢者虐待防止について介護事業者向けの研修会を開催した。

(オ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・ 研修会（浜野圏域と合同・中央区）を開催し、修了証の発行を行った。
- ・ 多職種連携会議をオンラインから対面に切り替え、69名が参加した。
- ・ 事例検討会の後方支援を行い、29名の参加者と事例の検討を行った。
- ・ 圏域内の居宅介護支援事業所を訪問し、課題等の聞き取り調査を行った。

(カ) 一般介護予防事業

- ・ 地区部会、町内自治会、各関係機関と連携し、フレイル予防等の介護予防普及啓発を行った。相談会やパンフレット配布等方法を変え、広い世代を対象に実施できた。
- ・ 定期的な基本チェックリストの実施により、高齢者自らセルフケアできるように支援することができた。
- ・ 圏域内4中学校で、あんしんケアセンターがヤングケアラー支援の連携機関の一つであることを、学校職員に周知した。

(キ) 重点活動項目（松ヶ丘）

- ・ 民生委員に対し、制度の正しい理解のためのミニ講座を開催した。
- ・ 民生委員児童委員協議会に参加することで、民生委員を通じて、地域の方の相談が入るようになった。
- ・ シニアリーダー体操が定期的に行われるようになった。

(ク)

- ・ 蘇我5丁目：地域ケア会議を開催し、現状把握や実態把握調査について協議した結果、歩行測定会やアンケートを実施することができた。
- ・ 大森町：通いの場や介護予防支援の利用者にアンケートを実施した。
- ・ アンケートを集計した結果、買い物する店がない・遠い、受診・買い物に行く手段がない、外出するための公共交通機関がない、ご自身の歩行能力の低下で買い物に行けない等、ハード面ソフト面両方で課題があることが分かった。

7-7. 千葉市生活支援コーディネーター

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月より第5類感染症へと移行し、日常生活における基本的感染対策を求められることはなくなったが、コロナ禍前に高齢者施設で開催されていたサロンや体操教室などは、再開の目途が立たない状況である。また、メンバーの高齢化を理由に活動を終了した老人クラブもあったが、それ以外の活動については、ほぼ以前の状況を取り戻しつつある。

生活支援コーディネーターの主な活動

1. 地域のニーズに応じた重点的業務

(1) 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

千葉市の資源情報管理システムに登録している内容について、訪問を基本とした更新調査を実施し、地域との「顔の見える関係」づくりに努めた。また、web上で公表されている情報については、閲覧者にとってわかりやすい表記や写真の掲載をこころがけた。

(2) 生活支援・介護予防サービスの創出

シニアリーダーやあんしんケアセンターと連携を図り、4つの会場でシニアリーダー体操のデモンストレーションを開催し、その後の定期開催につなげた。また、集いの場となるカフェやサロンについても2カ所、地域からの相談を受け、その立ち上げを支援した。

(3) 支援ニーズの把握

あんしんケアセンターの総合相談や予防プラン、地域ケア会議等で支援ニーズを把握

し、介護保険サービス以外の地域資源に関する情報を提供することができた。また、地域の活動団体からも相談を受けたが、その活動を支援するための「出張講座情報」に掲載されている事業や「地域リハビリテーション活動支援事業」をコーディネートすることができた。

(4) 担い手の養成

地域活動の支援者養成を目的とした「ちばし地域づくり大学校」の講座資料作成に携わり、講座内では講師を務めた。また、認知症地域支援推進員を養成する新任者研修では、東京と愛知の会場で活動報告を行い、研修参加者それぞれの活動の参考としてもらうことができた。

2. 多様な関係機関・団体とのネットワークの構築および協議体の設置

千葉市中央いきいきプラザ、あんしんケアセンターと連携を図り、「認知症との共生」を目的とした「共に歩む会」の開催を立ち上げるとともに認知症当事者であるご本人、認知症サポーター（ステップアップ講座修了者）、認知症と家族の会の方々に協議体への参加を働きかけ、構成員となってもらうことができた。

3. 生活支援コーディネーターによるチーム活動

昨年同様、「生活支援サービス整備チーム」に所属したが、いままでに作成した「生活支援ツール」や「出張講座情報」をチーム以外の生活支援コーディネーターも活用できるようにそれぞれの事例集を作成した。

4. 認知症地域支援推進員の活動

千葉市の認知症施策を推進するために構成された「千葉市みかんの会」では、昨年同様「チームオレンジ班」に所属した。チームオレンジの活動については、認知症当事者であるご本人を認知症サポーター（ステップアップ講座修了者）へ紹介し、チームオレンジの活動につなげることができた。※「千葉県版チームオレンジ活動事例集」に掲載。

a

a